

名 称	建コン WILLSUMMIT2023		
実施日	令和5年7月27日(木) ～7月29日(土)	実施場所	大阪、淡路島、神戸(詳細は開催概要に示す)
参加者数	65名(会員50名うち関東支部若手の会2名、関東支部女性の会1名、非会員12名)		

実施目的

- ・各支部の活動内容報告や好事例の共有を通じ、若手組織の交流及び更なる業界活性化を推進する。
- ・建設コンサルタントが関わったインフラや阪神淡路大震災に触れる現場見学を交え、建コンの魅力や再認識し、その発信の仕方を議論・試行する。

実施概要

1. 開催概要(プログラム)

<p>1日目 @NLC 新御堂ビル会議室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催趣旨等の説明、本部若手の会紹介 ・各支部の活動状況の報告(プレゼンテーション形式。①活動内容、②今年度の取り組み予定、③建コンの魅力発信に向けて取り組んでいる事例について発表。) ・グループワークセッションⅠ:建コンの魅力の抽出、発信ターゲットの議論 ・意見交換会Ⅰ(懇親会)
<p>2日目 @明石海峡大橋及び人と防災未来センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建コン本部若手の会によるWEBラジオ収録 ・明石海峡大橋見学 ・人と防災未来センター見学 ・グループワークセッションⅡ:魅力の発信についての深掘り(魅力を届けることでどういう状態になってほしいか・なりたいのか?届けるためにどのような発信方法がよいのか?なぜその発信方法がよいのか?) ・意見交換会Ⅱ(懇親会)
<p>3日目 @中央復建コンサルタンツ株式会社 大阪本社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークセッションⅢ:ターゲット毎に魅力の伝え方の具体化を図り、課題や若手の会への落とし込みを図る。



参加者(集合写真)



活動内容報告の様子



グループワークの様子



明石海峡大橋の見学



グラフィックレコーディング
(活動報告の内容、グループワーク発表結果のまとめ)

2. 各日程におけるグループディスカッションの内容（要旨）

1 日 目	<p>全国 9 支部 10 組織から、これまでの活動内容や本年度の取り組み内容についてプレゼンし、各支部の好事例や課題の水平展開を図った。その後、5～6 人のグループに分かれ、「建コンの魅力」をテーマとしたグループワークセッションを実施した。</p> <p>①魅力：社会貢献度が高い（生活の基盤を作る、防災にかかわる、地図に残る）/改善してきた勤務環境（ワークライフバランス、「3K」は過去のものに）、良い人材が多い（良い上司、良い後輩）、副次的な楽しみもある（出張、出張先のご飯）、など</p> <p>②ターゲット：家族・身内、学生・就活生、若手従事者、同業他社、業界を全く知らない人、など</p>
2 日 目	<p>魅力の発信について、発信する理由・目的や方法を議論した。（方法は3日目に具体化）</p> <p>①家族…土木は身近な存在であるにもかかわらず、認知度が低く、悪いイメージを持たれていることも多い。身近な人に自分の仕事内容を理解してもらいたい。</p> <p>②学生・就活生…土木系の学生だけでなく、土木以外（文系含む）の学生にも仕事内容を知ってほしい。ポジティブなイメージを持って建コン業界を選択してほしい。</p> <p>③若手従事者…優秀で良い後輩たちが多く、年次を踏むと次第に「目の輝き」を失っていくことが多い。離職率を低減し、若手がモチベーションを持って働けるようにしたい。</p> <p>④同業他社…建コンは、生活基盤の維持や「地図に残る仕事」など、社会貢献度が高いという魅力がある。同業同士でつらい時には励ましあい、業界全体を盛り上げていきたい。</p> <p>⑤見知らぬ人々…新たな仲間作りが必要。建コン業界を知らない人達の中から、潜在的に趣向が似た人材を発掘したい。</p>
3 日 目	<p>魅力を発信するターゲットごとに、魅力の発信方法を具体化した。</p> <p>①家族…子供も親しめるよう、五感に訴えるアイテムを開発する（例：インフラや自然環境を模したスイーツ、香り、おもちゃ等）。開発に当たり、官公庁や企業との連携も想定する。</p> <p>②学生・就活生…分野別説明会や大学へのポスター掲示を通じ、土木系の学生のほかに、文系の学生にし、仕事の内容を知ってもらう。</p> <p>③若手従事者…現場見学ツアーへの参加又は企画側への誘い込みにより、自分の仕事がどのように形になっていくかをより具体的にイメージしてもらい、モチベーションアップにつなげる。また、長く働ける業界であるためには、若手だけでなく上司・管理職クラスを理解・協力も必要。</p> <p>④同業他社…企業間交流会や発表会（成果だけでなく、失敗談なども共有）の開催により、業界の志気や自己肯定感のアップにつなげる。</p> <p>⑤見知らぬ人々…土木構造物などへこだわりのある「マニア」に対し、SNS などを通じてアピールすることで、魅力をさらに多くに人々へ拡散してもらい、業界の新しい人材確保につなげる。</p>

3. 全体を通じての成果と今後の展望

今回の WILLSUMMIT において、主に 3 つの成果があった。

- ・**他支部との活動内容の共有** 若手の会本部および各支部の活動報告発表により、各支部が建設コンサルタント業界を広めるために、SNS の活用や小中学生を対象にしたワークショップの開催など、コロナ禍で新たに始めた活動が功を奏した事例やコロナ禍でストップしていた活動を再開しつつあることなどを確認できた。
- ・**建コンの魅力の再認識** 3 日間にわたるグループワークを通じ、建コンの魅力について深く考える機会となった。特筆すべき点は、建コンならではの社会貢献的なやりがいだけでなく、ワークライフバランスの充実や勤務環境の改善なども魅力として挙げられていたことである。業界全体が、社員一人一人が長く働ける環境づくりに向けて取り組んでいることを改めて認識することができた。
- ・**発信方法の具体化** 発信する魅力やターゲットを明らかにした上で、実際にどのように伝えるか発信方法を議論することができた。方法の掘り下げにおいても「なぜ伝えたいのか」「〇年後にどうなってほしいか」「実施する上での課題は何か」等様々な視点から発信方法を見ることで、より実現性の高い、ターゲットに合った取り組み方を検討することができた。ターゲットは身内や学生、建コンを知らない人など多岐にわたっていたが、魅力の発信方法の議論結果としては、業界のイメージが昔から変化していないことを認識したうえで、新たな業界イメージを作っていくということに一致していた。

今後、関東支部若手の会 WG 及び女性の会 WG においては、業界の魅力を発信する活動について、今回共有された情報を参考にして活動に反映させていきたい。また、今後も他支部との交流を継続し、若手全体で取り組む魅力発信には積極的に参加していきたい。

以上